

報道各位

～「最後のマンガ展 重版<熊本版・大阪版・仙台版>」開催！～
『バガボンド』の人気漫画家・井上雄彦
TOKYO FM「クロノス」で独占インタビュー放送決定！！

TOKYO FMでは、4月20日(月)から4月24日(金)までの5日間にわたり、朝のワイド番組『クロノス』(毎週月～金5:00～8:30/JFN系38局ネット)内で、『バガボンド』、『スラムダンク』で知られる人気漫画家・井上雄彦の独占インタビューを放送いたします。

WBCでの“サムライ・ジャパン”の活躍、NHK大河ドラマ「天地人」や映画「レッドクリフ」のヒットなど、サムライたちの生き方が20～30代を中心に話題になっています。13(月)～24日(金)の『クロノス』では、そんな今求められるサムライ像に着目。1週目には「日本を元気にする“サムライ・ベスト9”!!」と題し、政治・スポーツなど各分野の“リスナーが選ぶ現代のサムライ”を特集。そして、2週目にあたる4月20日(月)からは、宮本武蔵の人生を描いた国内累計発行部数5000万部を超える人気漫画『バガボンド』の作者・井上雄彦が、5日間連続で登場いたします。

同作の世界を展覧会として表現し、昨年、上野の森美術館の入場者数記録を更新した『井上雄彦 最後の漫画展』。その反響から、武蔵が人生の最後を過ごし「五輪書」を記した地・熊本でも『井上雄彦 最後の漫画展 重版<熊本版>』を4月11日(土)より開催となった井上氏に、TOKYO FM『クロノス』が熊本現地で独占インタビュー。熊本での開催に対する思い入れ、仙台・大阪での<重版>も決定した同展の「正しい見方・楽しみ方」を中心に、超人気漫画『バガボンド』について作者本人が語る、ファンにとっては至福の5日間です。

“TOKYO FM「クロノス」漫画家・井上雄彦への独占インタビュー”の放送概要は下記の通りです。

記

【番組名】TOKYO FM「クロノス」(JFN系全国38局ネットで生放送)

【放送日時】2009年4月20日(月)～24日(金) 5:00～8:30

※漫画家・井上雄彦への独占インタビューは、連日7:20頃から放送

【放送内容】『井上雄彦 最後の漫画展 重版 熊本版』開催の理由、東京版との違い、本展に込められた想い、開催までの制作秘話、井上氏が考えるサムライ像など

【プレゼント】放送期間中毎日『バガボンド』既刊29巻セットをリスナープレゼント

【井上雄彦】

漫画家。1967年、鹿児島県出身。闘う人間同士の関係性を描き、またその身体の動きを写し取ろうとする作家。『SLAM DUNK』で第40回小学館漫画賞受賞。『バガボンド』で、第4回メディア芸術祭大賞、第24回講談社漫画賞、第6回手塚治虫文化賞大賞受賞。『リアル』で第5回メディア芸術祭優秀賞受賞。

【バガボンド】

井上雄彦による青年漫画作品。原作は吉川英治の『宮本武蔵』。1998年からモーニングで連載が開始され、単行本は現在29巻まで刊行。国内累計発行部数は5000万部以上。5月末に第30巻が発売予定。

【井上雄彦 最後の漫画展】

昨年、上野の森美術館で開催され、同館の入場者数記録を更新した展覧会。この展覧会は、吉川英治の宮本武蔵を原作とした国内累計発行部数5000万部を超える人気漫画『バガボンド』の武蔵の人生の終日を、井上雄彦自身が描いた一篇のストーリーとして展開。来館者は美術館で「マンガを読む」ことになるという、画期的な試みです。

◆今後の開催予定

<熊本版> 2009年4月11日(土)～6月14日(日) : 熊本現代美術館 (CAMK)

<大阪版> 2010年1月2日～3月14日

<仙台版> 2010年5月初旬～6月中旬(予定)

【『クロノス』番組概要】

朝は今日の始まりです。ビジネスで、コミュニケーションで常に人と違う発想＝視点(「ポイントラブ」)を手にし、これから始まる一日のポジティブなエネルギーとしたい…。そう考えるリスナーの欲求に、新生「クロノス」は答えます。この春新しくパーソナリティに迎えるのは、自らの感性を、その高いコミュニケーション能力で発信し続けている中西哲生。TOKYO FMでは、中西哲生の瑞々しい感性とホットなエモーションを媒介に、日本、そして東京の朝に、唯一無二の電波を発信していきます。

タイトル : 『クロノス』
パーソナリティ : 中西哲生(月～木) / リサ・ステッグマイヤー(金)
アシスタント : 柴田幸子(TOKYO FMアナウンサー)
放送日時 : 月曜日～金曜日午前5時00分から8時30分
放送形式 : TOKYO FM アースギャラリーから生放送
放送局 : JFN系全国38局ネット(※一部 東京ローカル)
番組HP : <http://www.tfm.co.jp/ch/index.php>

【中西哲生 プロフィール】



1969年生まれ。同志社大学経済学部卒業
元Jリーガー(名古屋グランパスエイト、川崎フロンターレ)
スポーツジャーナリスト、日本サッカー協会特任理事

Jリーガーとしては、名古屋グランパスエイト・川崎フロンターレで活躍。
名古屋時代は、現イングランド・プレミアリーグ「アーセナル」の監督であり、世界的にも名将として知られる、アーセン・ベンゲル監督のもと、英語によるコミュニケーションで他選手とのパイプ役を務め、
川崎時代は、当時2部リーグであったチームの主将として、
精神的中核をなし、見事1部リーグへと昇格させた実績を持つ。
父は大阪大学名誉教授(分子生物学)の中西康夫氏。
現在はプロサッカーチームのゼネラルマネージャー養成スクールに
30代として唯一参加を許されるなど、あらゆるスポーツ選手の中にあって、
抜きん出た知性の持ち主である。